

キャリアアクション通信

2021/11/11 学習指導部

キャリアアクション・プロジェクトとは？

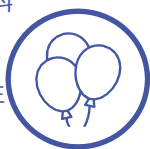
本校では、平成30年度より自らの進路(career)に向けて主体的に行動(action)するという意味を込め、「キャリアアクション・プロジェクト」を開始しました。このプロジェクトは、①地域とのかかわりを通し、社会の一員としての役割を自覚すること、②ロールモデルから生き方を学び、進路意識と学習へのモチベーションを高めること、③自分自身の進路実現に向けて主体的に粘り強く取り組むことをねらいとしています。

1 学年キャリアアクション 出前授業その3

7月19日(月) 6, 7限

1 学年における出前授業 3 回目です。今回は、医療、保育、栄養の分野の出前授業が行われました。

◆医療分野 国際医療福祉大学保健医療学部視機能療学科
准教授 岡野真弓先生
技術助手 漆原美希先生
『リハビリ入門講座』



リハビリテーションに関わる4つの職種(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視機能訓練士)についてその役割や魅力について教えていただきました。医療には様々な職種があることを知り、また、「医療は連携プレー」という言葉通り、様々な職種がチームとして患者さんを支えていることを学びました。

◆保育分野 白鷗大学教育学部
准教授 中村三緒子先生
『保育所・幼稚園への実習とは』

幼児の発達段階における心理やジェンダーに関する保育者としての意識など、保育としての基本的な知識を学びました。また、3から5歳児を対象とした絵本の読み方、ペープサート(紙人形)作成の際の留意点など具体的な手法についても教えていただきました。



◆栄養分野 女子栄養大学
生涯学習講師 宮崎美紀先生
『栄養士の仕事～その可能性を考えよう!』

管理栄養士と栄養士の違いを現場での様子を例に、その仕事内容について教えていただき、様々な職種の方とつながりの多い職業であることを知ることができました。また、栄養学から生活に生かせることがたくさんあり、改めて「食」の大切さを学ぶことができました。3年生の栄養系進学希望者も一緒に受講しました。

1 学年「まちづくり」豊田南 小学校合併後の校舎の 利用方法を考える

7月19日(月) 6, 7限

1 学年「まちづくり分野」は、令和4年度の小山市立豊田南小学校の合併・移転を知り、現校舎を地域の活性化のために活用したいという想いを抱きました。その実現のために、小山市立豊田南小学校を見学し、宇都宮大学地域デザイン科学部准教

授石井大朗先生のご指導の下、大学生5名にもアドバイスをいただきながら、利用方法についてのディスカッションを行いました。様々な視点でたくさんのアイデアを出すことができ、今後はより具体的な提案となるよう調査を進めていきたいと考えています。
※この活動は7月25日下野新聞県南・両毛版に掲載されました。



11月1日(月) 6, 7限

1 学年まちづくり分野(17名)が、宇都宮大学地域デザイン科学部准教授石井大朗先生による今年度2回目の出前授業を受講しました。今回は、実現するための方法や概算費用、スケジュールなどより具体的なアイデアを大学生6名のアドバイスにより引き出してもらいました。授業の終わりには、各グループが企画を発表し合い、利用対象や利用目的も様々でユニークな提案が並びました。生徒たちは、今後地域への効果が期待できるような提案を企画書にまとめ、小山市に提出し、自分たちがその担い手となっていきたいと夢を膨らませていました。



出前授業その4

10月25日(月) 7限

◆スポーツ分野

1 学年スポーツ分野がとちぎ県政出前授業「いちご一会とちぎ国体・いちご一会栃木大会」を受講しました。2022 年に本県で開催される国民体育大会及び全国障害者スポーツ大会を通して、スポーツの意義について学ぶことができました。また、この大会の目的は広くスポーツを普及させ、国民の生活を明るく豊かにすることであることを知り、高校生としてスポーツを普及させるために何ができるかを考えました。スポーツ分野の 17 名は、11 月～12 月に豊田南小学校と豊田北小学校を訪問し、スポーツの楽しさを小学生に伝えるスポーツ教室や持久走大会のサポートを行う予定です。



にならずに亡くなっているということを知り、食べ残しを減らすことや水の無駄遣いをしないことなど身近なことから改善して少しでもその人達のために行動しようと思った」、「SDGs が本当に自分の身近にあるということを知って、これからはもっと自分が世界のためにできることをやっ
ていこうと思った」、「他人事にせず、改善策を皆で考えることが大事だと再認識できた」などの感想がありました。今回の訪問を通して、世界を知り、さらに自分たちにできることは何かを考え行動していこうという気持ちを強くしたようです。また、施設見学では、各国の民族衣装が並んでおり、顔を輝かせて試着する姿がありました。世界の問題や文化に触れた貴重な 1 日でした。



ことが大切」などの言葉が印象に残ったようです。話を聞いて、日ごろからコツコツ勉強することの大切さを実感すると共に、「オープンキャンパスなどへ参加し、行きたい大学の情報収集を行いたい」という感想も多く、進路への意欲も高まりました。

「発表オリエンテーション」

11月22日(月) (予定)

ポスター発表についてのオリエンテーションを予定しています。自分の進路に関連した課題を設定し、研究を進め、その成果を全員が1月31日(月)に発表します。

3 年生の活動



「入試スケジュール」

夏休みの三者面談では「進路プレゼンテーション」を実施し、自分の言葉で決意を述べ、今後の受験に向けてしっかりと一歩を踏み出したようです。10月から11月は模試の振り返りとともに、いよいよ本番に向けてのスケジュールを組んでいきます。共通テスト利用、英語外部試験利用、入試科目、受験地など多様化する入試形態に対応すべく、勉強と並行して計画を立てます。

NEWS

9月29日(水)

小山北ロータリークラブ(RC)よりキャリアアクション・プロジェクトに対し、10万円のご支援をいただきました。同 RC 会長であり、本校の卒業生、学校評議員でもある福地博行様が来校され、校長室にて、キャリアアクション国際分野の代表生徒に支援金の贈呈が行われました。RC は国際交流や地域貢献に関する事業に取り組まれており、キャリアアクション・プロジェクトへの支援を申し出てくださいました。支援金は、キャリアアクション国際分野の JICA 筑波訪問をはじめ、キャリアアクションの運営費として活用させていただきます。

※10月2日下野新聞に掲載

1 学年の出前授業では大学の先生方や県や市の職員の皆様にご協力いただき、進路について考え、一歩を踏み出すきっかけとなりました。今後は、小学校を訪問し、これまで得た知識を小学生に還元していくことになります。教える、伝えるということは難しいことですが、相手のことをよく考え、工夫を凝らした発表となることを期待しています。

(学習指導部 早川)

2 年生の活動



「先輩の話」

7月19日(月) 6限

本校卒業生である東洋大学、成蹊大学、文教大学、芝浦工業大学、東京電機大学の大学3年生5名が来校し、2 学年に向けて高校時代の経験や進路選択の理由など様々なアドバイスをしてくれました。「行ける大学でなく、行きたい大学に行くべき」や「役に立たないものなく、自分で役に立つものに変える



1 学年「国際」JICA筑波訪問

10月22日(金)

1 学年国際分野(23 名)と3 学年希望者(6 名)が、JICA 筑波を訪問しました。国際協力の仕事についての講話や世界の問題について考えるワークショップを行っていた
き、「世界の中には530 万人もの人が5 歳

1 学年出前授業の感想～その1～



9 つの分野でそれぞれ出前授業を実施してきましたが、分野を越えて共通する感想がありましたのでいくつか紹介します。

協働力・寛容性の大切さ ●コミュニケーション能力を高めることが大切だと思った。その患者に対してどんなにハビリがいいか、何を話すべきかを聞いたりすることで適切な判断ができる。(医療) ●現代の医療はどんなことをするにしてもチームで行っているのだということを感じました。医療関係者の方々が協力して患者さんを助けたり、サポートをしたりしていくことはとても良いことだなと思いました。

(医療) ●言葉の誤解を防ぐには相手の状況を理解し、適切な表現をつかうべきだとわかりました。

(情報) ●助け合うことや相手を優先し、思いやる気持ちを持つことが大切であり、第一歩であることがわかった。(国際) ●1 人では何も出来ないが、違う考えを持った人同士が協力することによってより良くなっていくことができる。(国際) ●いろんな人の意見を聞くことで、自分には思いつかなかった発想がたくさんあることに気づけました。今後の活動でも、話を聞くだけでなく自分の意見を進んで発表し、積極的に行動していきたいです。(まちづくり) (次号において続きを紹介します。)